



カントウ カンアオイ号

釣る！捌く！食べる！全部そろった ～ハゼ釣り大会～ 【活動報告1】

9月17日（日）9：00～14：30 松島光希（小3）

ぼくは、ふるさと侍従川に親しむ会の活動に初めて参加しました。

今回は、ハゼ釣り大会でした。つりも初めてでしたが、エサをはりにつけるのがむずかしかったです。一回目は、つりざおをたらしたしゅんかんにすぐつれて、うれしかったです。ハゼをさわったら、フニャフニャしてました。

お昼ご飯の時に、つったハゼをみんなで調理して、天ぷらにして食べたら、とてもおいしかったです。じじゅう川にも入ることができました。何もつかまえられなかったけど、キレイな水で楽しかったです。

いい天気だったので、日やけどしてヒリヒリしましたが、とても楽しい活動でした。



カントウカンアオイ（関東寒葵） 学名： *Asarum nipponicum*

関東地方中部から静岡県にかけて分布している常緑性の多年草で、薄暗く湿度のやや高い林庄を好む。神奈川県に自生するのは本種と、タマノカンアオイ、ランヨウアオイの3種だが、三浦半島では本種しか自生していない。

本種は特異な生態を持っており、秋から冬にかけて地面すれすれに花を咲かすため落ち葉などが被って見えないことが多いが、ダンゴムシやヤスデ、トビムシなどの土壌生物によって花粉を媒介すると考えられている。また、莖や根にはコショウのような芳香があり、本種がコショウ目に分類されていることを物語っている。 五月女



ハゼ釣り大会フォトギャラリー



9月定例クリーンアップ

【活動報告2】

9月24日(日) 10:00~11:30 晴れ

飯村優介

実施内容：六浦2号橋～加倉橋(土嚢袋4袋)

参加者：寺尾勝廣、河本充雄、松嶋良次、松嶋律樹(小3)、小川翔太、小池碧馬、貞廣宇保(高2)、飯村優介(計8名)

気づいた点：9月17日の異常(以下参照)は回復した。

二の橋支流合流付近の異常と対策について

9月17日(日)、明戸の淵でマハゼが死んで腐敗しはじめたのを複数見つけました。

ガサガサしても少しおかしく、ウナギの若い20cmくらいのもなど、元気な魚もいましたが、死んだテナガエビもいました。また、山王橋から二の橋も所々に死んだマハゼを、二の橋の右岸下の支流からの水で中にミゾレヌマエビが複数死んでいるのも見つけました。

この支流の上の道路脇に、雨の時有害物流れたと思われる物があり、大道交番に連絡して検証してもらい、金沢土木等で回収してもらうことになりました。

二の橋から上流方面は異常なく、自分の捕獲した良サイズのマハゼ類は大道橋下付近と下流のもので悪い水の影響はなく、下流方面も不安はないと思われました。

支流道路脇の廃缶から15日夕方の雨の際、生き物に悪い溶剤が染み出したとみています。異常が確認された区間は二の橋から長島橋まででした。

飯村優介



回収したゴミ

トピックス

10/16(月)高舟台小学校3年生が侍従川で生きもの調べ…山田が対応

10/18(水)～21(土)大道橋～山王橋の業者による草刈り

10/22(日)観音崎自然博物館ジュニア生物調査隊が侍従川の生きもの調査(主催:観音崎自然博物館)…佐野が対応

11/4(土)観音崎自然博物館一般観察会で侍従川の生きもの観察(主催:観音崎自然博物館)…佐野が対応

11/6(月)神奈川県横浜川崎治水事務所と土砂掘削工事施工業者とふるさと侍従川に親しむ会による工事の際に出たマコモの地下茎の処置についての話し合い←護岸保護のために護岸際に埋め石を組むことを提案も、地元一部住民の方からの反対で頓坐(詳細は7ページ)…飯村、山田が対応

11/26(日)定例クリーンアップは雨天のため中止

ネイチャークラフト ～作って遊ぼうくパチンコ編～

【活動報告3】

10月22日(日) 9:30～14:30

萩倉羽時(小4)：今日のパチンコ作りでは、目的地につくまでの間は、植物の特徴などを説明してもらったり、きんもくせい(金木犀)のほかにも、ぎんもくせい(銀木犀)があることを知り、見てみたいと思いました。

パチンコ作りでは、きれいな『Y字』になっている木を見つけるのがむずかしかった。腐っていて、ちょっとひっぱったら折れてしまったりしていい木が見つかるのが大変だった(-_-;)。

ドングリをとばすのは、最初はむずかしかったけど、“こつ”をつかんだらすごく遠い山のうえまでとびました。すごく楽しかったです。

家にあるいろいろなものを飛ばしてみたいです。

寺尾勝廣(スタッフ)：10月15日に予定していたパチンコ作りは雨のために延期となりました。体調不良により参加を断念していた萩倉家にとっては恵みの雨でした。予備日は22日・・・大失敗。誤って第四日曜日の侍従川清掃の日にセットしてしまいました。今後気を付けます。

Y字の木は何とか集まったのですが、ニュースで耳にしていた「ドングリ不作」は朝比奈の森にも当てはまってしまい思っていた以上に拾えませんでした。事前に集めていてよかった～と思った瞬間でした(ドングリは下処理をして発芽しないようにしてあります)。



10月定例クリーンアップ

【活動報告4】

10月22日(日) 10:05～12:00 晴れ

飯村優介

実施内容：明戸橋～大道橋(土嚢袋2袋)

参加者：水野公秀、永塚颯太(小2)他1名、安藤正人、安藤大和(小3)、安藤千歳(小

1)、西田由美、石井三楽(小5)、小池碧馬、飯村優介(計10名)

気づいた点：ゴミは少なめ。ミナミテナガエビやアカテガニなど生き物がたくさん採れた。観音崎自然博物館チームが大活躍でした。



秋の恵みをいただこう ～秋のキノコ祭り～
11月3日（金祝）9：00～15：00

【活動報告5】
安藤恵里子

親子ともども、人生初めてのきのこ狩りでした。普段は山できのこを見かけても、怖くて手を出せませんが、きのこのプロの飯村さんがいらっしやったので、安心して参加できました♪

今年は雨が少なく、きのこが育たないので、数日前に飯村さんが下見の時に見つけた、一本の椎茸をみんなで大事に収穫します。との説明で出発しました。

普段だったら気が付かないような小道に入ると、湿地帯になっていました。

あつた～！！という元気な声が聞こえてきて、行ってみると、子どもの顔くらいある大きな椎茸♪ その後もみんなで探したら、何本か収穫できて、とても盛り上がりました。

湿地帯を後にして、次は朝比奈市民の森へ。山道の途中で大量のひらたけ発見！！

雨が少なかったので、朝比奈市民の森では、きのこは採れないかも…と、うかがっていたので、みんな大喜びでした♪ 逆に雨が少なすぎて、干し椎茸状態になっていたようです。

きのこだけでなく、山ぶどうやむかごも収穫できました。どちらも初めて食べたので貴重な体験となりました。

山を降りて、収穫した椎茸を天ぷらにさせていただきました。普段は椎茸を食べない我が子がもりもり食べていました！

事前に収穫してくださってあつたなめたけで、温かいお汁もいただきました。なめたけのだし汁がしっかり出ていて、身体に染み渡りました～。ひらたけのバター焼きも、言うまでもなく絶品でした。そして今回の隠れメニューとして、セイタカアワダチソウの天ぷら…。セイタカアワダチソウ…外来種。花粉がやばい。そこら中に増えている…。くらいの認識しか無かった為に、まさか食べられるとは！ 面白いので、興味のある方はぜひ食べてみて欲しいです。

「初めて」がいっぱいの一日で、とても素敵な時間を過ごさせていただきました♪ ありがとうございます。



金沢動物園「Zoo to Wild Fes ～Autumn～」のブースに行ってきました！ 廣瀬隆夫
10/7(土)～9(月祝) 対応:今井康、今井翔、応援:水野、貞廣、柴田繭、柴田真、河本、山田
たくさん子どもたちで賑わっていました。中でもヘビのコーナーは大人気で、子どもたちだけでなく、お父さんやお母さんもヘビの手触りを楽しんでいました。

侍従川に行ってみたくらいという人もいて、行き方を聞かれました。

たいへん見やすい展示だったと思います。スタッフのみなさん、お疲れ様でした。



観音崎自然博物館に出展しました！ 寺尾勝廣

2023年11月18日(土)に観音崎自然博物館で開催された創立70周年イベント『カムズ!海淡フォーラム』に出展してきました。

カムズ!海淡フォーラムは観音崎自然博物館のコンセプトである「東京湾集水域・三浦半島の自然」をテーマに、その地域や周辺地域で自然を通して活動をおこなっている人、自然が好きな人、興味がある人、愛好家、研究者、市民活動、NPO、動物園、水族館、企業、教育機関等(どなたでも)が、当イベントを通してつながり、この地域にはこんな人や団体、活動があるのだ!ということを知り、これをきっかけに開催されたイベントです(<https://jijyukai.sakura.ne.jp/wp/2023/10/22/kamuzu/>)。

15団体100人以上が参加し、日ごろの活動を発表しました。侍従会からはスタッフの河本さん、遠藤さんと寺尾が参加し、パネル展示と口頭発表を行いました。

ブースには多くの方が訪れ、我々からの話に耳を傾けてくれました。そのうえで「だぼはぜ通信」を手に取り、持ち帰っていただきました。これから何名が侍従会にアクセスしてくれるのか楽しみにしている最近です。

口頭発表では活動時のスナップ写真をまとめたパワーポイントを使って、川を軸とした流域(山・川・海)での活動を紹介しました。「春の野草を食し!」「干潟の生き物を食し!」「ハゼを食し!」「キノコを食し!」と発表していて初めて気が付いたので「ありゃ!また食べてますね～」と自ら発してしまったのですが、会場は「笑い」に包まれていました。

「自然を相手とした活動組織」が近隣にこれほど多くあり、複数のブースで活躍している侍従会会員の姿を見かけ5年後、10年後、その先の未来にむけて頼もしく感じました。とはいえ、まずは地元の自然の豊かさに触れる侍従会の活動を一緒に楽しみましょう。



発表の様子

朝夷奈の森通信 ～森の忍者より～ 飯村優介

2023年9月は観測史上最高温の暑さでした。

高い山から低い山までキノコは大凶作。そんな中、源流の森隣接の緑地でヤマドリタケモドキが良く出たのは幸運だった。10月中旬以降の雨と気温低下で、ナラタケ、ヒラタケなど、木材腐朽菌が勢い良く育ち、豊かな秋の恵みとなった。



ヤマドリタケモドキ



ナラタケ源流の森



ナラタケ三浦半島



ヒラタケ三浦半島

編集部注：「北の国から」はお休みします。

【侍従川堆積土砂の掘削工事について】 代表 山田陽治

大雨による侍従川の氾濫の恐れがあるため、草刈りと堆積土砂の除去を定期的に行っていますが、侍従川を管理する神奈川県横浜川崎治水事務所に対して、治水と自然環境に配慮した工事をお願いしてきました。

そこで、30mm/hの雨量で氾濫しない計画で堆積した土砂の除去が行われました。その際に出たマコモの地下茎については、一部残してもらい護岸の保護となるように護岸の際に埋め戻し、その代わりに土砂が最も土砂が堆積しやすい箇所をより深く掘り下げるよう提案しました。

工事もそのよう進められたのですが、一部地域住民に受け入れられず、残念ながら当会の提案した工事は行われませんでした（一部地元住民から「もっと深く掘削して欲しい」という声があるのですが、深く掘り下げると護岸が崩れる可能性がかなり高いそうです）。

一度に中流域全域を工事すると川の生態系の復活が困難であり、また、今年度予算がついたのは山王橋～六浦二号橋でしたが、来年度予算がつけば大道橋～山王橋の堆積土砂掘削工事が入ります。

当会としては、今後も、治水の目的は達しながらも自然環境に配慮した工事の提案をして参ります。



侍従川定例調査報告

2022年9月24日(日)

10:00~11:30【クリーンアップ調査】

【調査範囲】六浦2号橋~加倉橋 【記録】貞廣

【確認した生き物】魚類：ボラ、キビレ、メダカ、ウキゴリ、チチブ、スミウキゴリ、アベハゼ、ヒナハゼ、ビリンゴ

甲殻類：モクズガニ、ミソレヌマエビ、ユビナガスジエビ、テナガエビ、クロベンケイガニ

昆虫：コシボソヤンマ、ヤマサナエ、シオカラトンボ

【備考】土砂撤去のための柵が設けられ流れが滞っているところでメダカが群れを形成しているのが確認されました。



事務局だより

◆1月~3月の活動予定

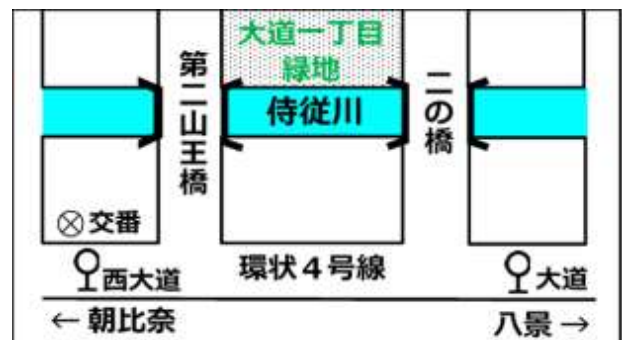
☆定例クリーンアップ 1/28(日)、2/25(日)、3/24(日)

10時~11時 大道一丁目緑地(旧称ちとせ園)集合

持ち物：川に入れる格好、タオル、軍手
(必要な人)、網(使いたい人…貸出あり)、着替え(心配な人)

※川の上からの参加でも構いません

※雨天中止



☆定例調査(中流域調査)

定例クリーンアップと同時開催

なお、上流域や下流域の調査は不定期にて実施予定です!

詳細は、メーリングリスト、LINEグループでお知らせします。

☆ネイチャークラフト ~小型花瓶を作ってみよう~ 要申込み

【日時】1月21日(日) 9:00~14:00

(予備日2月4日(日))

【集合/解散】大道一丁目緑地(旧称ちとせ園)

【場所】朝比奈北市民の森

【参加費】 会員無料、非会員500円

【持ち物】 参加費（非会員）、山歩きしやすい格好、タオル、レジャーシート（必要な人）、昼食（買い弁可）、水筒、剪定ばさみ（ある人）、ナイフ（orカッター）、軍手その他必要と思われるもの

【申込み期限】 1月19日（金）までにメールにて申込み

【申込み方法】 「住所」「氏名」「学年（大人の方は「大人」と記載）」「携帯電話番号」「区分緊急連絡先（雨天中止連絡アドレス）」に加え

「会員・非会員」の区分を記入の上、info★jijyukai.sakura.ne.jp（★を@に置き換えてください）担当の寺尾までご連絡ください。

【注意点】 花瓶はセイタカアワダチソウの茎を使用します。当日、大道一丁目緑地から朝比奈北市民の森への移動中に採取し、花・種・葉を取り除きますので、アレルギーをお持ちの方は注意が必要です。アレルギーをお持ちでない方も安全を期してマスクをお持ちください。

なお、セイタカアワダチソウは、ハチなどの昆虫が花粉を運ぶことで受粉する虫媒花なので花粉を飛ばさないため、花粉症の原因ではないとされています。



☆大道溪谷保全作業 & ホトケドジョウ調査

【日程】 2月18（日） 【活動時間】 10：00～15：00頃

【集合】 10：00に大道中学校体育館前 【対象】 どなたでも

【活動内容】 ・ホタル生息環境保全を目的とした草木の伐採や水路の土砂除去作業
・ホトケドジョウの個体数調査

【持ち物】 軍手、長靴もしくは胴長、タオル、昼食、飲み物、スコップ（ある人）、のこぎり（ある人）、剪定鋏（ある人）、草刈り鎌（ある人）、その他鉋等伐採作業に使いたいもの、タモ網（ある人）、バケツ（ある人）、バット（ある人）、その他生きものの観察に使いたいもの



前回作業後の水路

【留意点】 ※雨天中止 ※**申し込みは不要**です。

※刃物等の取り扱いは十分注意してください。

※枝や下草で擦れると思います。長袖長ズボンの着用を推奨します。

※寒さが厳しい時期ですが、活動中は汗をかくほど暑くなる可能性が有ります。重ね着を基本とし、温度管理しやすい服装を推奨します。

※軍手は園芸用の手袋をお勧めします。皆様の参加、お待ちしております。

前号でお知らせした侍従川賛歌に曲がつけました！

侍従川は、朝比奈峠を源流として、横浜市金沢区の大道を横切り、平潟湾に注ぐ4キ口足らずの小さな川です。地元の小学生や地域のみなさんのお力添えでキレイな川に戻りました。侍従川は、たくさんの人たちに愛され続けています。

「侍従川賛歌」は、生前、侍従川が好きだった父が作詞したものです。

今年は、父の生誕100周年なので良い記念になりました。

皆さんぜひお聴きください。

廣瀬隆夫

侍従川賛歌 作詞：廣瀬一雄（元侍従会顧問） 補修：廣瀬隆夫

作曲：高橋揚一 歌：松永知史 編曲・伴奏：柴田悦子



<https://jijyukai.sakura.ne.jp/wp/2023/08/28/jijyusanka/>

<<2023年度会費納入のお願い>>

今年度の会費ですが、まだ若干名、未納の方がおられます。未納の場合、非会員扱いとなります。会費を納入されていない方は、納入をお願いいたします。

◆ゆうちょ銀行からの振り込みの場合

口座番号：00230-5-68634 ふるさと侍従川に親しむ会

◆他の銀行からの振り込みの場合

銀行名：ゆうちょ銀行 金融機関コード：9900 店番：029 預金種目：当座

店名：〇二九店（ゼロニキュウ店） 口座番号：0068634

★年会費：家族4,000円、大人3,000円、大学生以下1,500円

※家族会員は、家族であれば、何人でも4,000円です。

【会員情報の記入のお願い】 通信欄には以下の情報を必ず記入してください。

①会員種別（家族、大人、大学生以下）、②お名前（**全員分**）、③会報郵送希望の有無

問合せ先：スタッフ又は info★jijyukai.sakura.ne.jp（★を@に置き換えてください）

≪編集後記≫ この夏の猛暑のせい、ツルが全く採れないため、年明けのネイチャークラフトは、新しい試みとして、セイタカアワダチソウを使って小型花瓶を作ります。セイタカアワダチソウというと花粉症！！と思ってしまうのは私だけではないと思います。しかし、9ページの**【注意点】**にも書きましたが、セイタカアワダチソウは花粉を飛ばさないため、花粉症の直接の原因ではないそうです。セイタカアワダチソウに謝らないと…(MK)



侍従会のホームページはこちら
<https://jijyukai.sakura.ne.jp/wp/>
これまでの会報を全て見ることができます。

